健康にアイデアを
meiji

メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「明治」
メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「明治」
を服用される患者さんへ

血糖値を下げる糖尿病治療薬が処方されています。**低血糖**やまれに**乳酸アシドーシス**を起こすことがありますので、以下の点にご注意ください。

250mg

500mg

1 このお薬の飲み方について

- 薬の量や飲み方は、医師または薬剤師の指導を正しく守ってください。
- 食事をとれなかったときの服用をどうするかは、医師または薬剤師にご相談ください。
- 飲み忘れたときは、次の服用時間に1回分を飲んでください。
  2回分を一度に飲んではいけません。

以下の内容はご家族やまわりの方にもお知らせください。

2 このお薬を服用中に気をつけなければいけないこと

(1)乳酸アシドーシス

次のような症状がひどいとき、または続くときは、このお薬を飲むのをいったんやめ、すぐに医師にご連絡ください。

症状：吐き気、嘔吐(おうと)などの胃腸症状、体がだるい、呼吸が苦しい、筋肉痛など

(2)低血糖

次のような症状が起きることがあります。

症状：強い空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、頭痛など

高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながる可能性があります。特に注意してください。

▶詳細と対処法について裏面に記載がありますので、必ずご覧ください。

健康にアイデアを
meiji

メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「明治」
メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「明治」
を服用される患者さんへ

血糖値を下げる糖尿病治療薬が処方されています。**低血糖**やまれに**乳酸アシドーシス**を起こすことがありますので、以下の点にご注意ください。

250mg

500mg

1 このお薬の飲み方について

- 薬の量や飲み方は、医師または薬剤師の指導を正しく守ってください。
- 食事をとれなかったときの服用をどうするかは、医師または薬剤師にご相談ください。
- 飲み忘れたときは、次の服用時間に1回分を飲んでください。
  2回分を一度に飲んではいけません。

以下の内容はご家族やまわりの方にもお知らせください。

2 このお薬を服用中に気をつけなければいけないこと

(1)乳酸アシドーシス

次のような症状がひどいとき、または続くときは、このお薬を飲むのをいったんやめ、すぐに医師にご連絡ください。

症状：吐き気、嘔吐(おうと)などの胃腸症状、体がだるい、呼吸が苦しい、筋肉痛など

(2)低血糖

次のような症状が起きることがあります。

症状：強い空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、頭痛など

高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながる可能性があります。特に注意してください。

▶詳細と対処法について裏面に記載がありますので、必ずご覧ください。

3 乳酸アシドーシスについて

(1)乳酸アシドーシスとは

血中の乳酸が異常に増えて血液が酸性になった状態で、治療が必要な状態です。乳酸アシドーシスは早期治療とともに予防も大切です。

(2)乳酸アシドーシスの予防には

- **腎臓**や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことのある人は医師に申し出てください。
- **脱水状態**のときは、このお薬を飲まないでください。また、脱水が起きないよう注意してください。
  - ▶次の状態(シックデイ)のときには脱水を起こすことがありますので、このお薬を飲むのをいったんやめて医師または薬剤師に相談してください。

下痢、嘔吐

食欲がなく食事がとれない

熱がある

  - ▶脱水を予防するため、適度に水分をとるよう心がけてください。
- お酒を飲みすぎないようにしてください。
- 次のときには、このお薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
  - ▶**手術を受けるとき**
  - ▶**ヨード造影剤を使う検査や治療(造影CT、尿路造影、血管造影など)を受けるとき**
  - ▶**他の医師から何か薬を処方してもらうときや、薬局などで他の薬を購入するとき**

4 低血糖について

(1)低血糖とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。低血糖は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら軽いうちに治してしまわなければなりません。

(2)低血糖が起こったら

- 低血糖が起こったら、すぐに糖質を含む食品やブドウ糖をとってください。
- α-グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース、ミグリトール)という薬を飲んでいる場合は、糖質を含む食品ではなく必ず**ブドウ糖**をとってください。

医療機関名

3 乳酸アシドーシスについて

(1)乳酸アシドーシスとは

血中の乳酸が異常に増えて血液が酸性になった状態で、治療が必要な状態です。乳酸アシドーシスは早期治療とともに予防も大切です。

(2)乳酸アシドーシスの予防には

- **腎臓**や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことのある人は医師に申し出てください。
- **脱水状態**のときは、このお薬を飲まないでください。また、脱水が起きないよう注意してください。
  - ▶次の状態(シックデイ)のときには脱水を起こすことがありますので、このお薬を飲むのをいったんやめて医師または薬剤師に相談してください。

下痢、嘔吐

食欲がなく食事がとれない

熱がある

  - ▶脱水を予防するため、適度に水分をとるよう心がけてください。
- お酒を飲みすぎないようにしてください。
- 次のときには、このお薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
  - ▶**手術を受けるとき**
  - ▶**ヨード造影剤を使う検査や治療(造影CT、尿路造影、血管造影など)を受けるとき**
  - ▶**他の医師から何か薬を処方してもらうときや、薬局などで他の薬を購入するとき**

4 低血糖について

(1)低血糖とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。低血糖は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら軽いうちに治してしまわなければなりません。

(2)低血糖が起こったら

- 低血糖が起こったら、すぐに糖質を含む食品やブドウ糖をとってください。
- α-グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース、ミグリトール)という薬を飲んでいる場合は、糖質を含む食品ではなく必ず**ブドウ糖**をとってください。

医療機関名

FELDSENF PHARMA
GN217704Ⓢ
GE(AI)
改訂:2024.10